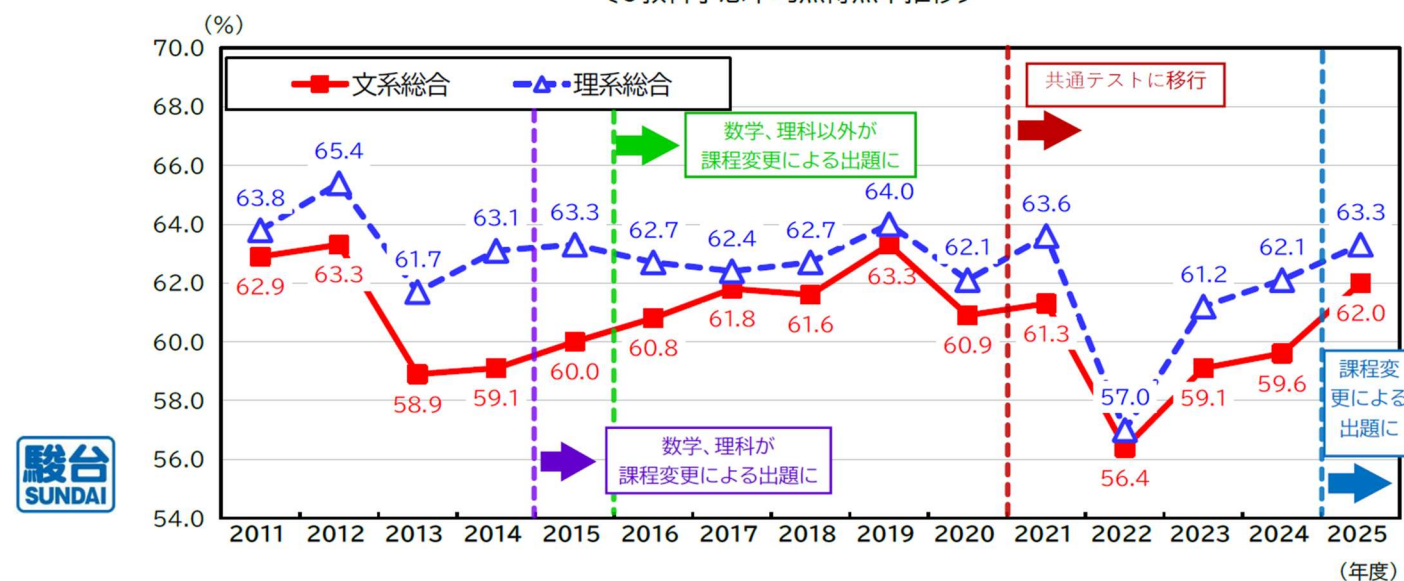


2025 年度 共通テスト結果概要！！

1・2 年生の皆さんは、1 月 19 日～共通テスト同日模試を自宅で受けました。科目を大幅再編した、共通テストにどのような感じを受けたでしょうか。2 月 6 日大学入試センター発表最終集計によると 6 教科 1000 点満点の予想平均点は文系 620 点、理系 633 点。主要科目別の平均点では、国語、英語、（リーディング）などでアップしました。また、共通テストの受験者数は 462,066 人で前年度に比べ 4,458 人増加し、志願者数の増加率をわずかに上回りました。下の 2011 年からの平均点推移のグラフには、文系総合と理系総合のアップダウンが見てとれます。共通テストが導入され、2023 年度から上がり続けていますが、来年はどのように変化していくのでしょうか。問題の傾向としては、**思考力重視がより鮮明になり、自ら考える力を問うものが増えており、知識を 2 段階で活用して考えさせるような問題が増え、時間との戦いであった生徒も多かった**のではないのでしょうか。新たに「情報」が導入され志望校選びはどのような変化があるのかと考えていましたが、科目再編の影響はさほど感じられず、平均点の上昇から難関大学志向が強まっているようです。

〔6教科予想平均点得点率推移〕



多様化・複合化する学部・学科を選ぶ視点

大学の学部・学科に多様化が近年一気に進みました。少し前では、文化構想学部、社会共創学部、ソーシャルシステムデザイン学部など、何を学ぶのかイメージしにくい名称が見受けられました。また、これまでに聞いたことがないような学部学科名称が生まれ、時代による変化を見ることができます。「国際」「グローバル」「文化」「地域」「マネジメント」「データサイエンス」など社会の変化や課題に合わせて学部学科名称が変わってきました。次に、学ぶ内容の細分化や複合化が進んでいる例を紹介しましょう。「データサイエンス学部」といっても「健康データサイエンス学部」「ソーシャルデータサイエンス学部」「フードデータサイエンス学部」のようにさらに細分化した学部学科も増加しています。また、名称は同じ「データサイエンス学部」であっても、経済系のデータサイエンスに力を入れている大学、生命科学系のデータサイエンスに力を入れている大学もあります。反対に細分化に対し、もう一つの傾向は複合化を挙げることができます。「リベラル

アーツ」のように、文理の枠を超えて、複数の学問分野を融合・横断した教育を導入している大学もあります。入試の先にある大学での学び、社会での活躍につながる選択肢を広げるためには、高校でも分野横断的な学びにも対応できる基礎力を作っておくことが大切です。早期に苦手科目を絞って捨てることにはリスクを伴う場合もあります。

探究の時間や様々な進路行事を通して、地域や社会にある現実の問題に目を向け、考える機会も増えています。興味・関心、自分のワクワクする気持ちを軸にして、具体的にどのような学部・学科が自分に向いているかを考えていきましょう。受験する大学や学部・学科を選ぶにあたっての考え方の基本は大きく分けて次の 2 つです。

- ① 自分の興味ある学問を深く学べる進学先を選ぶ
- ② 将来のために必要な能力や知識、資格、経験を得られる進学先を選ぶ

受験生のレベルを上げる習慣

① 社会問題に関心を持つ

スマホの影響でしょうか、自分の周りのことにしか注意がいけないことはありませんか。世界に向けて視野を広げていくことが成長へとつながります。新聞を読み、ニュースを見て時事問題にアンテナを張り巡らせましょう。自分を取り巻く社会で、日本や世界でどのようなことが起こって何が問題になっているかを知ることが大切です。地球規模で考えられたらなおよいですね。

② 読書をする

社会問題について知見を深めるには、新書を読むことが近道です。志望学部や学科に関連する新書を今のうちから読み進めることを提案します。小論文や面接の対策にもなります。新書だけではなく小説もたくさん読みましょう。本は自分の世界を広げ、感性を磨いてくれます。しっかりと自分の意見を持ち、引き出しを増やして下さい。

③ 探究学習に取り組む

これまで、探究の授業を通して自ら課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析してきました。周囲の人と意見交換や協同作業を進め、いよいよ発表する時期を迎えました。これは大学での「学問」や「研究」の基礎となるものです。学校推薦型・総合型選抜で探究活動の成果を問われる可能性もあります。

では、今から具体的に何をすれば良いのか？

高校 3 年間の集大成として納得いく進路決定ができるよう、1 年生の時から段階的に進んでいくことが大切です。3 年生になったからやるのではなく、**3 年間かけて完成させる**のです。

1 年生では社会に対してアンテナを張り、学問と社会の関わりについて理解することが大切です。2 年生では視野を広げて将来のビジョンを考え、学部学科を絞ります。特に 2 年生の冬は高校 3 年生のゼロ学期と言われ、受験勉強を始める時期でもあります。1 年生は、この時期に入試のことについて知っておくことが大切です。様々な入試方式を意識し**すべての科目に全力で取り組みましょう**。2 年生は受験を意識して、大学の調査と学習を進めましょう。**第一志望の大学が見えてきたら、入試の難易度や入試科目・配点などの入試制度について詳しく調べてみましょう**。1 月の大学入学共通テストの問題にチャレンジし模試を振り返り、解きなおしをするなど**受験を意識した学習**を進めていきましょう。

3 月 19 日（水）には、1・2 年生向けに「合格体験発表会」・「大学生によるオープンキャンパスガイド」・「大学入試相談会」の進路行事があります。この機会に同じジャンルの学部で、別の大学も気になっているときは、「〇〇大学に似た名称の学部がありますが、どのように違うのか？」など、積極的に聞いてみましょう。また、新たな興味関心の対象が見つかるかもしれません。お楽しみに！！

1 月記述模試の解き直しはしましたか？

ポートフォリオって何？

ポートフォリオという言葉聞いたことがありますか？みなさんは、今高校生で、勉強・部活動・行事だけでなく様々な活動を日々行っていると思います。それらをただ振り返ることなく過ごしていくと、あっという間に３年間が終わり、高校卒業そして大学進学へと時が流れていきます。

新課程が始まり、大学も学校推薦型入試や総合型選抜入試の割合を増やしています。これらの入試では、「高校時代にみなさんがどんなことに一生懸命に取り組み、自分を振り返り、そして目標を設定しながら成長していききましたか」「なぜ、〇〇大学の〇〇学部〇〇学科に入学したいのですか」そして「何を学びたいのですか」「大学卒業後はどのような人生を歩みたいのですか」「総合的な探究の時間では、どのような研究を行いましたか」などを面接で聞かれたり、志望理由書に書くことが求められたりします。また一般受験でも、点数化はしないまでも、「活動記録」の提出を求める大学が増えてきました。

つまり、ポートフォリオは、高校生活の中で、みなさんの活動や経験を振り返り、次にどのように生かしていけるのかを考える記録です。簡単にいうとみなさんの成長日記のようなものです。

これからの進路や将来を考えた時、自分がやって来たことをしっかり見つめ直すことで、今何をしなければならないのか、今後何をしていきたいのか、現在と未来が見えてきます。

「ポートフォリオを書く」＝「自分の成長日記を定期的を書く（入力する）」と考えましょう！

振り返ることで、成長につながる

ポートフォリオを書くことによって振り返りができることは、成績がアップしたり、自分が成長していることを実感できたりします。実は振り返りにはレベルがあり、

レベル１ やった事実や感想（実践）

レベル２ 振り返り（内省）

レベル３ やった事を振り返ることによって、具体的に行動する計画を立て目標をつくる（気づき）

レベル４ 計画を立てて実行し伸びてきた部分や計画通りに行った部分の分析（理論）

レベル５ 計画通りに行えた部分の分析（理論）を次に生かすための計画（次へのステップ）

の５段階があります。

学習手帳の「MYバトンノート」を使用した具体例①

具体的に、硬式テニス部での公式戦に参加したAさんを例にします。

みなさんの持っている学習手帳「MYバトンノート」の「部活動・クラブ活動の記録」の箇所を開きます。そこには、大会名や目標、大会概要や成績を書く欄があります。

【大会名】高体連東部地区硬式テニス大会

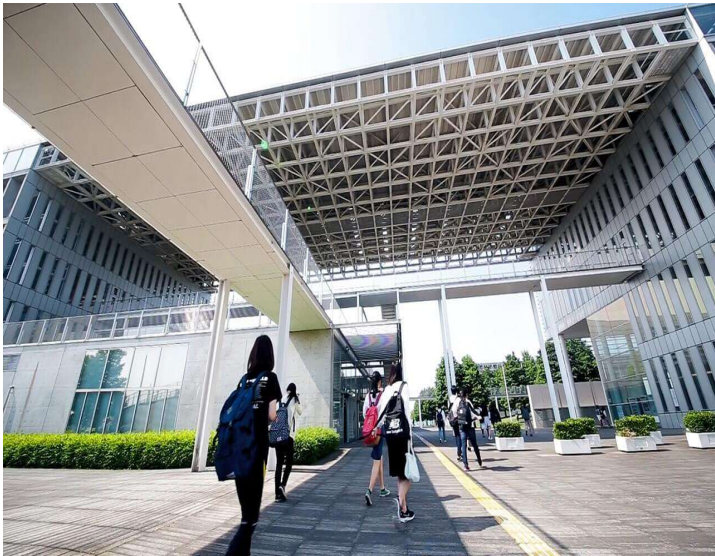
【大会の目標】ダブルス戦予選リーグを勝ち抜き、決勝トーナメントに進出すること。

【成績】ダブルス戦予選リーグでベスト８となり、決勝トーナメントに進んだが、決勝では初戦で敗退した。

【振り返り】日頃から基礎トレーニングを真面目にやり、試合形式の練習をしていたので、正確なストロークやロブだけでなく、ネットでのボレーやスマッシュも決まった。今後も試合形式の練習をしていきたい。

【次の大会に向けた改善点は何ですか】

団体としても決勝に出たいので、みんなで相談して練習メニューを改善していきたい。また決勝リーグでは、上位の選手に体力と気持ちで負けてしまったので、体力づくりとメンタルトレーニングにも取り組みたい。



学習手帳の「MYバトンノート」を使用した具体例②

次に実用英語検定２級に挑戦したB君の例をみていきましょう。

学習手帳「MYバトンノート」の「資格・検定の記録」の箇所を開きます。

そこには、「資格検定名」や「目的・計画」や「工夫・姿勢・振り返り」を書く欄があります。

【資格・検定名】実用英語技能検定

【検定日】 2025年11月10日（日）

【グレード・級・スコア】２級２２５０点

【取得年月日】2025年12月15日（火）

【この資格の受験目的】

英語力を向上させて、外部検定利用入試に活用したいと思いました。

将来は国際的に活躍したいと考えています。また授業以外にモチベーションを上げて勉強したいと思ったからです。

【この検定を受けるために取り組もうと思っていることは何ですか？】

英語の授業やテストに真面目に取り組む。スタディサブリの英検２級対策講座を利用し、英検２級問題集をやる。

【この検定における取り組みで工夫したことは何ですか？どのような姿勢で取り組みましたか？】

工夫したことは、苦手のリスニングを克服するために、毎日英語を帰りの電車の中で聞く習慣をつけました。また単語力がないので、学校での休み時間等に単語帳を暗記しました。

【この経験を通じてどのようなことを学びましたか？それはなぜですか？】

英語は苦手意識がある教科だったので、最初の内は苦手意識が拭えなくて、毎日勉強することで、慣れてきて、だんだん楽しくなって来ました。実際に英検を受けてみて合格した時は、本当に嬉しくて、達成感を味わうことができました。嫌いなことでも努力を継続することで、慣れてきて、上達していく過程を味わえたことは、大きな自信になったと思います。

学習手帳の「MYバトンノート」を使用した具体例③

最後に総合的な探究の時間で、探究活動のテーマを設定したCさんを例にします。

皆さんの持っているNOLTYのPortfolio Noteの「探究活動の記録」の箇所を開きます。

【探究活動のテーマと目的は何ですか？】

「地震とコンパクトシティ」

祖父母が熊本県に住んでおり、熊本地震で被災しました。過疎地なのでなかなか水道やガスなどのライフラインが復旧せず、避難生活が長くて大変だったと聞きます。最近災害に強いコンパクトシティの話聞き、メリットとデメリットを研究していき、昨年地震があった能登でもコンパクトシティが実現するか探究してみたいです。

ベネッセマナビジョン・ポートフォリオも活用しよう！

皆さんが、利用しているベネッセマナビジョンにもポートフォリオが記録できます。「学習手帳」で記録したものをマナビジョンにも入力しておくとても便利です。

マナビジョンポートフォリオは、学習や部活動、進路検討、学校外の活動などの目的や目標、プロセス、振り返り、成果を記録・蓄積できるツールです。この記録を参考にして進路決定の時に自分の考えをまとめたり、志望理由書の作成などに活用できます。

５つの記録カテゴリー（「日常の記録」「ベネッセのテスト振り返りの記録」「進路探究の記録」「節目の振り返りの記録」「成果の記録」）に分けて記録・保存ができ、保存した記録は、タイムラインに時系列で表示されるのでわかりやすいと思います。

「活動報告書」等の提出物が求められた場合に、その時々感情や気づきをデジタル上に残しておく、後で振り返りやすく、自分のことを表現する際に役立ちます。

耳寄り情報！！

東京都立大学の入学金及び授業料は所得制限なしで無償です！

都立大は、総合大学で、毎年数名進学しています。是非みなさんも志望大学の候補にしてください。

English

